

先生各位

新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

さて、このたび新たに下記項目の受託を開始することになりましたのでご案内申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《受託開始日》 平成 24 年 8 月 20 日(月) 受付分より

《検査要項》

検査項目名称	4q12 欠失 / 挿入解析	
検査コード	7782	7783
JLAC10	8 B 345-0000-019-841-49	8 B 345-0000-046-841-49
検体量	全血 3.0 mL	骨髄液 0.5mL
保存・容器	冷蔵・H2	冷蔵・M1
実施料(判断料)	2,730 点(+400 点)(血液) 注)分染法を行った場合は、400 点を加算する。	
所要日数	6 ~ 10 日	
検査方法	FISH 法	
基準値	設定なし	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・重複依頼不可、採血当日中に出検 ・受付曜日：月～木 休日の前日、前々日は受託不可 ・事前連絡必要、血液疾患染色体依頼書必要 ・FIP1L1 / PDGFR キメラ遺伝子形成時に生じる 4q12 領域の欠失 / 挿入の有無を検出します。 	

保険収載名称：染色体検査(すべての費用を含む)

保険注釈：(1)染色体検査の所定点数には、フィルム代、現像代、引伸印画作成代を含む。

(2)染色体検査の「注」の分染法加算については、その種類、方法にかかわらず、1 回の算定とする。

《解説》

好酸球増多症候群は、持続的な骨髄での好酸球の産生亢進を背景に、末梢血中の好酸球増多をきたし、高頻度で臓器浸潤を伴う疾患です。近年、FIP1L1-PDGFR 遺伝子再構成が一部の好酸球増多症候群発症の原因であることが明らかになりました。

本検査は、FISH法によりFIP1L1遺伝子とPDGFR 遺伝子間の領域の欠失または挿入を検出し、再構成の有無を間接的に解析します。